

令和5年度 経営改革プラン

団体名	公益財団法人神戸市スポーツ協会
-----	-----------------

設立年月日	平成2年4月1日	
団体の設立目的・沿革	<p>設立目的</p> <p>当協会は、すべての人々が生涯にわたってスポーツに親しみ、健康づくりができるスポーツ社会を基本理念に、神戸市におけるスポーツの普及及び競技力の向上を図るとともに、教育・健康増進に関する事業を行い、もって市民の健全な心身の発達及び保持に寄与することを目的とする。</p> <p>沿革</p> <p>昭和22年12月に任意団体「神戸市体育協会」として発足          平成2年4月に財団法人認可          平成10年10月に(財)神戸市スポーツ教育公社と統合          平成24年4月に公益財団法人に移行及び「神戸市スポーツ教育協会」に名称変更          令和元年7月に「神戸市スポーツ協会」に名称変更し現在に至る。</p>	
団体の主な事業内容	事業名	所管局
	市民スポーツ振興事業	文化スポーツ局スポーツ企画課
	スポーツ・教育施設運営事業	文化スポーツ局スポーツ企画課
	スポーツ・教育施設収益事業	文化スポーツ局スポーツ企画課
	施設附帯等事業	自主事業
代表者	会長 國井 総一郎	

役職員数 (令和6年7月時点)	理事・評議員		監事		職員		合計
	常勤	非常勤	常勤	非常勤	有期	無期	
団体固有職員	-	-	-	-		12	12
神戸市派遣職員	1	-	-	-		4	5
神戸市OB職員	1	-	-	-	10		11
その他	-	27	-	2	8	4	41
合計	2	27	-	2	18	20	69

財務状況（単位：百万円）	令和5年度	令和4年度	差引
経常損益	▲ 29	31	▲ 60
当期正味財産増減額	▲ 33	27	▲ 60
流動資産	377	450	▲ 73
流動負債	191	230	▲ 39
長期借入金（固定負債）	0	0	0
期末現金預金残高	326	363	▲ 37

■ 中長期的なミッション（神戸市行財政改革方針 2025 期間中のミッション）

ミッション①	スポーツ振興及び市民の健全な心身の発達・保持という定款の目的を着実に遂行するためのKPIによる事業の実施と検証
ミッション②	自律した事業運営に向けた財政基盤の強化
ミッション③	中長期的な人事戦略による活力ある組織づくり

■ 短期的なミッション（令和5年度のミッション）

ミッション①	中期経営計画（令和5～9年度）の展開
ミッション②	情報発信機能の強化
ミッション③	市政課題や社会課題に対応した新たな市民スポーツ振興
ミッション④	風通しのよい働きやすい環境の整備
ミッション⑤	事務事業の見直し

■ 経営指標（令和5年度）

経営指標				令和4年度	令和5年度	前年度比増減
人的 パフ オー マン ス	職員 一人 あたり 純利益	純利益/職員数	職員1名あたりが、どの程度の利益を上げているか。(百万円)	0.663	▲0.833	▲1.5ポイント
	経常費用 人件費比 率	人件費/経常費用×100%	経常費用に占める人件費の割合がどの程度あるか。	16.83%	19.05%	2.2ポイント
財政 的 パフ オー マン ス	総資本 経常利益 率	経常利益/総資本×100%	経常的な収益性はどの程度見込まれるか。	2.57%	▲2.62%	▲5.2ポイント
	流動資産 回転率	売上高/流動資産×100%	流動的な資金が効率的に運用されているか。	323.34%	258.28%	▲65.1ポイント
財政 安 定 性	流動比率	流動資産/流動負債×100%	短期的な資金をどの程度確保できているか。	195.64%	197.23%	1.6ポイント
	自己資本 比率	自己資本/総資本×100%	団体固有の資本がどの程度あるか。	75.70%	79.60%	3.9ポイント
持 続 性	自己資本当 期純利益率 (ROE)	当期純利益/純資産×100%	資本を効率的に運用しているかか。	2.99%	▲3.80%	▲6.8ポイント
	純資産 増加率	(当期純資産-前期純資産)/当期純資産×100%	純資産が持続的に増加しているか。	2.99%	▲3.80%	▲6.8ポイント

■ ミッション工程表

ミッション名	令和5年度			令和6年度			令和7年度～					
中長期的ミッション												
スポーツ振興及び市民の健全な心身の発達・保持という定款の目的を着実に遂行するためのKPIによる事業の実施と検証	第5期中期経営計画に基づく事業の展開			前年度の達成状況確認、当該年度の事業実施に反映			前年度の達成状況確認、計画の修正及びKPIの見直し、当該年度の事業実施に反映					
自律した事業運営に向けた財政基盤の強化	・収益事業における収入の確保、増収方法の検討 ・収支構造の改善 ・事業見直しの実施			・収益事業における収入の確保、増収方法の検討 ・単年度収支均衡の達成 ・事業見直しの実施			・中期経営計画期間R5～R9通算の収支均衡の達成 ・事業見直しの実施					
中長期的な人事戦略による活力ある組織づくり	組織体制と役割分担の見直し		人事配置計画			人事配置計画			人事配置計画			
ミッション名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
短期的ミッション												
中期経営計画（令和5～9年度）の展開	第5期中期経営計画に基づく事業の展開（4つの基本方針「①協会の強みを活かしたスポーツの振興」「②市と協会が両輪となった事業の展開」「③経営基盤の安定と強化」「④組織及び人的体制の強化」に沿った事業展開）											
							進捗状況の確認					
										翌年度事業への反映		
情報発信機能の強化	協会HPとKOBESPORTS WEBの統合に関する協議・仕様の検討											
	効果的な情報発信に向けた協議・検討											
市政課題や社会課題に対応した新たな市民スポーツ振興	神戸市民体育大会（4/9～10/1 陸上競技など22競技）						神戸市総合スポーツ大会（8/1～1/21水泳競技など13競技）					
	神戸市民体育大会・神戸市総合スポーツ大会のあり方検討											
	都市間交流スポーツ大会					ICTを活用したスポーツ教室の検討						
	教室・イベント（トップチームとの交流、ニュースポーツなど新たな幅広い競技の体験、子ども向け、フレイル予防等）											
	競技団体指導者の部活動指導員への橋渡しを始めとする部活動の地域移行への対応への協力											
風通しのよい働きやすい環境の整備	組織体制と役割分担の見直し	施設監査		外部講師研修		現金監査	施設監査	自主監査		政懇	協会予算編成	
	情報共有環境											
	Web環境	外部研修受講、資格取得支援										
事務事業の見直し	市民スポーツ振興事業のあり方検討											
	類似事業の統合・整理及び新規事業の検討											
	その他事務事業の見直し											
	収益事業における収入の確保、増収方法の検討											

■ ミッションを踏まえた団体目標

目標及び実現方法	目標 (できるだけ達成度を表す 数値目標も記載)	定款に掲げた目的に基づき、かつ、神戸市スポーツ推進計画の理念実現を目指して、中期経営計画に沿って、市民へのスポーツの普及及びスポーツによる市民の健康の増進、競技団体への支援・連携体制の強化及びそれらの実現のための協会の財務体質の安定・強化並びに人材の育成、外部人材の活用に取り組む。
	1. 協会関連事業の参加者数令和3年度比25%増	
	・協会の強みである専門性・経験及び競技団体との連携を活かしたスポーツ振興	
	・競技団体への支援と連携事業による市民がスポーツをする環境の提供	
	・民間事業者や大学等との連携による市民のスポーツ振興	
	・様々なメディアを活用した協会の活動情報、市内スポーツイベント、競技団体の情報等の発信	
	2. 市政課題や社会課題に対応したスポーツの振興	
	・市が所管しているソフト事業に関して、協会への移管、協会の参画など神戸市所管事業への取組	
	・子ども向けスポーツ教室や指定管理施設における子ども向け個人利用時間帯の設定など、子どもの体力を向上させるための事業の実施	
	・SNSの活用や動画配信によるスポーツ教室など、働き盛り世代へのスポーツ実施機会の提供	
・高齢者向けスポーツ教室等の健康維持・フレイル予防を目的とした事業の実施		
3. 第5期中期経営計画（令和5～9年度）期間内の経常比率100%以上の達成		
4. 協会の組織及び人的体制の強化		
・職員の経験蓄積とスキルアップ		
・人事異動による組織の活性化		

■ 市支援策の活用状況（令和5年度）

<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体共通内部通報窓口	<input type="checkbox"/> 経営懇談会	<input checked="" type="checkbox"/> 外郭団体職員向け研修	<input type="checkbox"/> 民間代替性調査
<input type="checkbox"/> 専門家紹介制度	<input type="checkbox"/> 経営診断	<input type="checkbox"/> 企業統治状況調査	

## ■ ミッションの達成状況（団体自己評価）

### （１）中長期的ミッションの達成状況

・競技団体に対する支援と連携事業の展開によるスポーツ環境の提供を行った。市と協働で神戸を拠点とするトップチーム優勝祝勝会を企画運営するとともに、市の実施するスポーツイベント等の運営に新たに参画することで、スポーツを「する・みる・ささえる」人の増加に寄与するなどスポーツ振興に取り組んだ。

（目標：協会関連事業の参加者数 令和3年度比25%増、令和5年度実績：+53%）

・収益部門の管理施設に協会職員を増配置し営業体制を強化。また、協会職員を市へ派遣し、協会の市業務への更なる参画について検討した。

・本部運営の一元化や事業の集約化等、組織体制を見直し、機動的に業務を行える体制を整えた。

### （２）短期的ミッションの達成状況

・新たな取り組みとして、スポーツと観光を融合させたウオーキングツーリズムや、神戸市文化財課とも連携し神戸の歴史的資源を活用したファミリーウオーキングを実施した。加盟団体との連携事業である六甲山ハイクでは、市の「神戸登山プロジェクト」と連携し、より多くの市民が参加できるようスポーツ環境の提供を行った。

・神戸市民体育大会と神戸市総合スポーツ大会について、より多くの市民が参加できるよう再構築に着手し、令和7年度から、より開かれた大会として実施すべく検討し、競技団体と調整を進めた。

・神戸を拠点とするトップチームの選手等から直接指導を受ける機会を提供。プレーを間近に観戦できる市民観戦会や、トップチームやアスリートとの教室事業等を展開した。ヴィッセル神戸J1リーグ優勝を祝う会及びINAC神戸皇后杯優勝を祝う会への参画も行った。

・子どもの体力向上のため、小学生と親子を対象とした「かけっこ教室」「走り方教室」等、各種教室を開催。中高年の健康づくりを支援する運動教室も実施し、幅広い世代の市民にスポーツを楽しむ機会を提供した。

・中学校運動部活動の地域移行では、教育委員会が加盟競技団体に対して実施するアンケート調査への協力を行うとともに、加盟団体連絡会を開催して教育委員会を招き現状を説明するなど、加盟団体への情報共有と意見交換を行った。

・本部と管理施設間の管理職のコミュニケーションツールとしてLINEWORKSを導入。防災指令時、休日・夜間等の施設の情報共有に寄与した。また、令和6年度からの組織改正に向けて、幹部職員による各職員との意見交換会を実施した。

・収益部門の管理施設では協会職員を増配置し営業体制を強化し、自主運営のスポーツ施設では利用料金改定の検討・調整を進めた。さらに、人件費削減、業務執行の効率化のため、令和6年度からの組織改正をめざし、各施設の業務の集約化の検討や、本部運営の一元化、事務分担の見直し、プロパー職員の役割の明確化等に取り組んだ。

### (3) 市政への貢献・市民への還元状況

- ・神戸マラソン開催にあたり、加盟団体の協力を得て約350人の大会ボランティアを動員し沿道での安全確保を行うとともに、関連するランニングイベントや沿道応援イベントを実施、資金負担を行った。
- ・神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会の開催に向けて、協会職員の派遣や資金負担等により開催準備を積極的に支援した。
- ・市と連携した取組みとして、全日本高校・大学ダンスフェスティバルや2023KOBE六甲山全山縦走・半縦走大会の運営に参画した。
- ・少年団事業や生涯スポーツ振興事業を市から当協会へ事務移管・受託するための協議・調整を進めた。
- ・ヴィッセル神戸J1リーグ優勝を祝う会及びINAC神戸皇后杯優勝を祝う会への参画や、神戸ストークスの本拠地アリーナであるワールド記念ホールでの開催支援を実施するなど、神戸を拠点とするトップチームへの支援を市と協働で進めた。
- ・収益部門の収益をスポーツ振興等のため公益事業に還元した。（令和5年度：74,094千円）

#### ■ 外郭団体マネジメント推進本部の評価

##### (1) 総合的意見

- ・市民スポーツ振興のために幅広い視点で関係各所と連携を取りながら進めることができ、今後も継続した事業発展を期待している。
- ・指定管理施設数の減少等、様々な要因はあるが、引き続き経常比率100%達成に向けた取り組みを進めること。
- ・短期ミッションは概ね達成できているため、中長期ミッションの達成に向けて、令和6年度の経営改革プランに基づく団体目標の達成に向けた取り組みを進めること。

(2) 数値目標の状況

評価項目	評価・指導
中長期的ミッション	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 事業参加者数は令和4年度に引き続き、継続的に増加させ、市民スポーツの振興に大きく寄与した。</li><li>・ 横断的に業務に取り組む組織体制へと再編したことによる効果を出せるように、プロジェクトごとに最適な体制で事業を推進すること。</li></ul>
短期的ミッション	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 市との連携による新規事業や部活動の地域移行に向けた取り組み等、経営計画をもとに進めていることは評価できる。</li><li>・ 人件費や事業分担の見直し等、時代の変化や組織内の活性化に向けた取り組みを実施しており、今後も継続した改善を期待できる。</li></ul>
団体目標の達成状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 目標は概ね達成できている。より効果的な情報発信に取り組むとともに、引き続き市民スポーツ振興のために事業を展開すること。</li></ul>
市への貢献・市民への還元状況	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 神戸マラソンや世界パラ陸上競技選手権大会でのボランティア協力・職員派遣・資金負担といった人材面・資金面での準備段階からの積極的な協力は大きく評価できる。</li><li>・ 令和6年度も本市の行政課題に一体となって取り組んでいくことを期待する。</li></ul>

(3) 今後の方向性

- 団体の存廃も含めた検討を要する団体       継続的な見直しを要する団体       取り組みが着実に実施され成果が上がっている団体